

病院案内



日本医療機能評価機構認定病院



独立行政法人 労働者健康安全機構

中国労災病院

Chugoku Rosai Hospital





病院長挨拶

病院長 榎野 新

呉市は瀬戸内海に面し、温暖で自然環境に恵まれたとても住みやすい都市です。もともと海軍の基地として発展した街でしたが、戦後は機械金属工業、製紙業等の臨海工業都市として変貌を遂げました。これらの事業所の労働災害に対応するため、昭和30年、労災医療の基幹病院として中国労災病院はオープンしました。

オープン当初は、病床50床、整形外科、外科、内科の3診療科、職員は、院長、副院長、整形外科部長、14名の看護師と職員でしたが、平成15年の全面改築、平成16年度に労働福祉事業団から独立行政法人労働者健康福祉機構、更に平成28年度労働者健康安全機構への移行を経て、現在、病床数410床、医師数100余名、総職員数700余名の総合的な病院となりました。

当院は「患者中心の良質な医療と地域医療への貢献」を理念として掲げています。

この中の『地域医療への貢献』においては、当院と地域の医療機関が協力して患者さん一生の健康管理をしていこうという「二人主治医制」を提唱しています。当院は主として地域の医療機関から紹介していただいた患者さんの診断・治療を行い、状態が安定すれば慢性期の治療とフォローアップを地域の先生にお願いします。定期的な検査が必要なときや病状が増悪したときには当院に紹介・受診していただき検査・急性期治療を行います。こうして当院と地域の医療機関との二人の主治医が連携しながら継続的に一人の患者さんをフォローしていきます。今ではこの考え方に地域の医療機関300余名の先生方が賛同、登録医として参加いただいています。

また当院は、「救急医療」、「高度専門的医療」、「周産期医療」を基本方針3本柱として位置づけています。

二人主治医制においても、万一、フォロー中の患者さんが増悪・急変したときのセーフティネットとして「救急医療」は欠かせません。私たちは『救急は医療の原点』というキャッチフレーズの下に、特に救急搬送患者さんの受け入れに力を入れています。平成25年に始まった広島県ドクターヘリ事業においても、県下で有数のヘリ搬送患者受け入れ病院となっています。また、災害拠点病院として大規模災害に対する訓練も怠りなく行なっています。

「高度専門的医療」については、広島県がん診療連携拠点病院として認定されていますし、広島県保健医療計画に重点的に取り上げられている、がん、急性心筋梗塞、脳卒中、糖尿病、等についても高度で専門的医療を提供しています。

「周産期医療」については、平成20年、産婦人科医不足のため呉二次医療圏の周産期医療が集約化されて当院の分娩件数が急増しましたが、地域の皆様方からのご要望にしっかりと応えてまいりました。

今後も私たちはこれら基本方針のもと、地域の皆様方の健康を支えてまいります。引き続きのご支援、ご協力をお願い致します。

理念

患者中心の良質な医療と地域医療への貢献

基本方針

- ・個人の尊厳と権利を尊重し、高度で安全な医療を推進します。
- ・地域の医療機関と連携し、救急・急性期から慢性期までの一貫した医療を実施します。
- ・高度専門的医療に基づいた勤労者医療を進めます。
- ・周産期医療を充実させ、未来を担う子供たちを支援します。
- ・優れた人材を育て、働きがいのある職場を作ります。

患者さんの権利

中国労災病院は患者さんの権利を尊重します

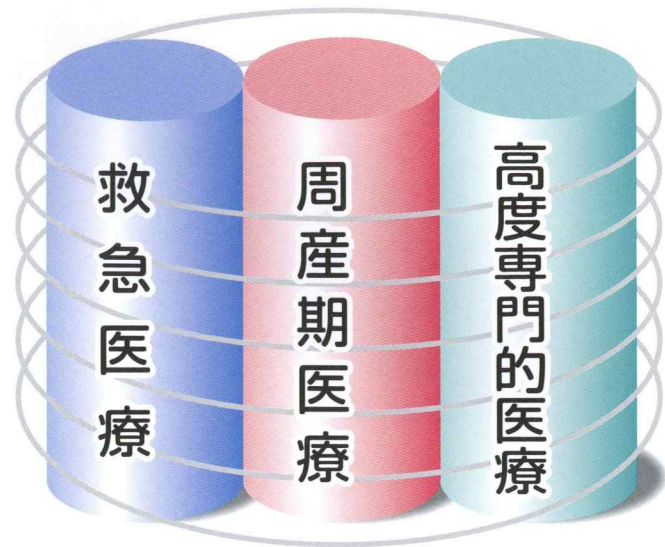
- 患者さんは人として尊重され、高度で良質な医療を受けることができます。
- 患者さんの医療情報など、個人のプライバシーは保護されます。
- 患者さんは自身の病状と検査・治療について十分な説明と情報提供を受けることができます。
- 患者さんは掲示された医療を「受ける」または「受けない」という選択ができます。
- 患者さんは病院を自由に選択でき、他院の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができます。
- 患者さんは自身の診療情報の開示を求めることができます。



3本の基本的な柱

- 救急医療
- 周産期医療
- 高度専門的医療

を三本柱として、
医療機関・介護保険施設等と連携して
地域医療に貢献



1 救急医療 救急部・救急外来

救急は医療の原点

24時間体制で患者さんを治療する救急体制



私たちは「輪」で救急医療を推進します。
救急医療は、初療を担当する救急部スタッフ・各科当直・待機医師、それを引き継ぐ専門治療スタッフ、これらの活動を支える看護師・薬剤師・技師・事務職など、専門集団の「輪」が連なって成立しているチーム医療です。

2 周産期医療

未来を担う 子どもたちを 支える医療

産科・婦人科・小児科の各分野で経験豊富なスタッフが、
充実した医療を提供します。



3 高度専門的医療

高度で安全な 医療の推進

健康寿命の延伸を支える診療提供体制として、私たちは、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、関節機能不全、といった疾患への対応に力を入れています。そのために、医療安全に裏打ちされた高度で専門的な医療供給体制を整えてきました。



診療科

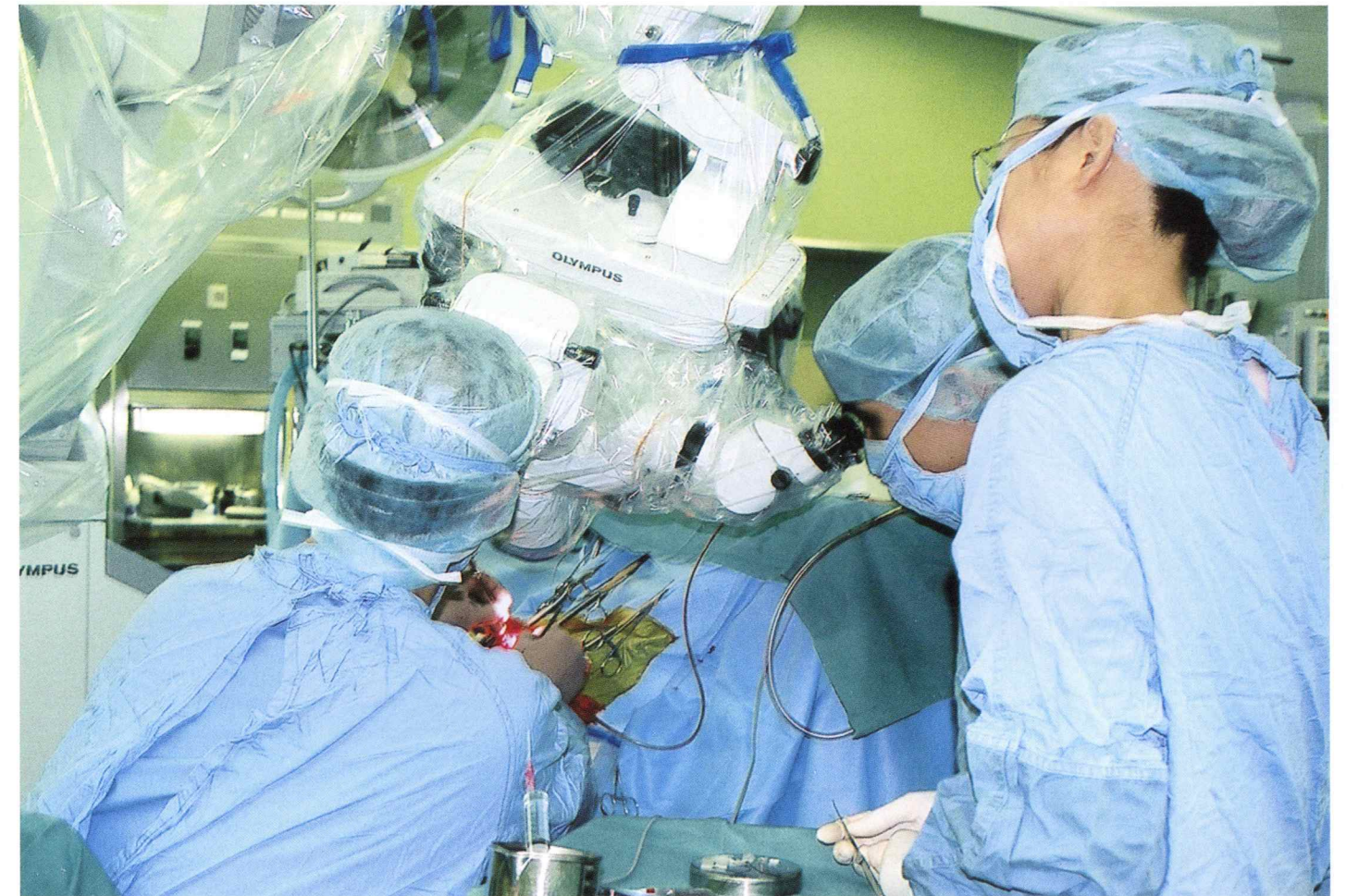
各診療部門が連携し、最適な医療をご提供します。

内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 代謝内分泌科 内視鏡科	精神科	外科 消化器外科 肝臓・胆のう・膵臓外科 乳腺外科 呼吸器外科	整形外科	脳神経外科 脳卒中科
	神経内科		関節整形外科 スポーツ整形外科 人工関節センター	
	小児科			
心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科
耳鼻咽喉科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科 (ペインクリニック)	歯科口腔外科
救急部	病理診断科	健康診断部	アスベスト疾患センター	
勤労者メンタルヘルスセンター		勤労者リハビリテーションセンター		

院内案内図

東病棟		西病棟	ヘリポート
多目的ホール			8F
内科・心臓血管外科	脳神経外科・神経内科・眼科		7F
内科・放射線科	外科・皮膚科・麻酔科 歯科口腔外科		6F
整形外科・泌尿器科	整形外科・耳鼻咽喉科		5F
小児科・産婦人科	整形外科・内科・婦人科		4F
治療就労両立支援センター 健康診断部	手術室 管理部門		3F
産婦人科・小児科・眼科・外科・泌尿器科・歯科口腔外科・皮膚科・耳鼻咽喉科・麻酔科 リハビリテーション科 一般血液検査室・生理検査室・超音波検査室・栄養指導室			2F
整形外科・精神科・心臓血管外科・脳神経外科・内科・神経内科・放射線科 救急部・薬剤部・中央処置室・内視鏡室・化学療法室・栄養管理室・医事課 患者サポートセンター・売店・理髪室・「ドトールコーヒー」			1F

外来棟・本館



手術室



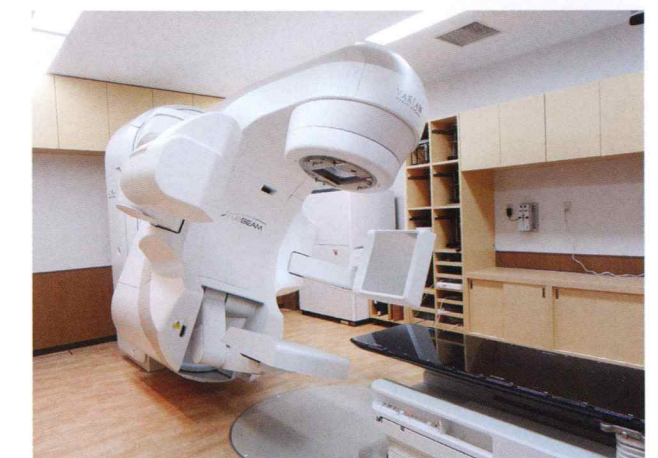
IVR-CT室



CT室



MRI室



放射線治療室

診療補助部門

健康診断部

勤労者の皆様と企業の保健医療スタッフの皆様をサポートいたします。



中央検査部

迅速かつ正確なデータの提供を確立し、他部門との円滑な連携を図り、臨床の現場にふさわしい検査部の実現を目指しています。



リハビリテーションセンター



外来化学療法室

多くの診療科の患者さんが、より快適で安心な化学療法を受けていただけるように、医師・看護師・薬剤師などが協力し、チーム医療を行っています。



栄養管理部

栄養管理部では、治療のために個々の患者さんの病態に合わせた食事提供や栄養指導を行っています。



理学療法士 (PT) ・作業療法士 (OT) ・言語聴覚士 (ST) が病状や手術前後の身体状況に合わせて病棟やリハビリテーションセンターで安全で患者様に寄り添ったリハビリテーションを提供しています。お仕事を持たれている方には復職支援も行います。



薬剤部

全病棟に担当薬剤師を配置し、安全で安心な薬物治療を受けていただくために、患者さんの治療方針や問題点などを把握した上で、医師や看護師とチームで情報を共有し、入院から退院まで薬の責任者としての使命が果たせるように努めています。



無菌調剤室



病床数 / 410床



ヘリポート



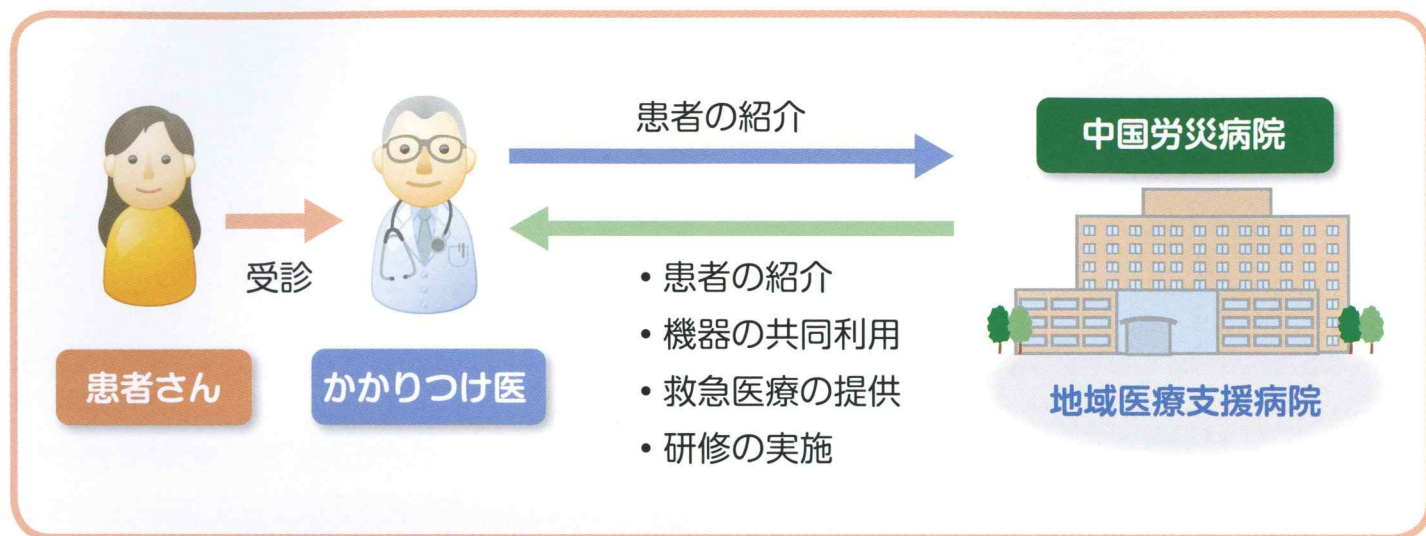
ドトールコーヒー



売店

地域の医療機関との連携

地域医療支援病院として、地域の医療機関と連携し、共に発展するために、地域医療の確保と充実を図っています。



二人主治医制

当院の主治医と地域のかかりつけ医が連携して、患者さん一生の健康管理を行っていく方法です。

疾患急性期には当院が診断・治療を担当し、安定期にはかかりつけ医が治療・フォローを担当します。万一、病状が不安定になった場合には、再度当院が受け入れて治療に当たります。このような方法を私たちは「二人主治医制」と名付けています。



連携ボード

連携医療機関に、二人主治医制に賛同、協力いただいています。

患者サポートセンター

患者さんやご家族からの各種相談を一体的にお受けするとともに、地域医療機関等との連携を強化するために、地域医療連携室、入退院支援室、患者相談窓口、がん相談支援センターを1カ所に集約した「患者サポートセンター」を設置しています。



○地域医療連携室
地域の医療機関との連携を推進し、紹介患者の受け入れ、情報交換を行い、地域全体の医療体制の充実を図ります。

○入退院支援室
当院に入院される患者さんが、外来での入院準備段階から当院での医療を終えて、自宅や次の医療機関や施設等に移られるまで、患者さん一人ひとりにあった入院治療や看護が提供できることを目指し、また、入院前から患者さんの退院後の状況や生活を見据えて、必要な支援が早期から開始できるよう院内の多分野の専門職が関わり、退院後も安心して療養生活を送れるよう支援しています。

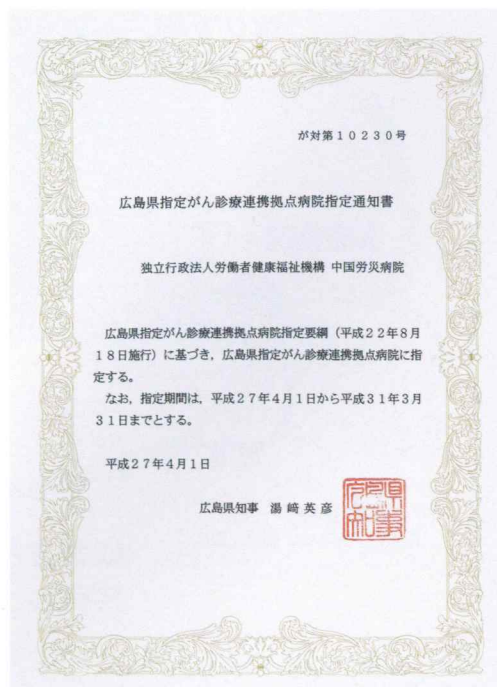
○患者相談窓口
患者さんからの病気に関する医学的な質問ならびに生活上及び入院上の負担等、様々な相談に対応するための患者相談窓口を設置しています。また、医療安全にかかわる相談の窓口でもあります。

○がん相談支援センター
「がん」に関する疑問や不安、悩みについて、医療ソーシャルワーカーや専門看護師（緩和ケア認定看護師）等が、患者さんやご家族の方からの相談をお受けしています。

県指定がん診療連携拠点病院

広島県指定「がん診療連携拠点病院」に指定されました。

当院は、平成27年4月1日付けで広島県知事から広島県指定がん診療連携拠点病院として指定を受けました。今後は地域の医療機関と連携を図り、がん医療の中核病院として、質の高いがん医療の提供に努めていきます。



治療就労両立支援センター

「治療を受けながらも仕事がしたい」
そんな患者さんを支援しています

治療就労両立支援モデル事業

労働者健康安全機構では、がん、糖尿病、脳卒中の罹患者及びメンタルヘルス不調者に対し休業等からの職場復帰や治療と就労の両立支援への取組を行っています。

●両立支援部

対象

- 就労中の方
- 就労に関するお悩みがある方

支援方法 院内の様々な職種(医師、看護師、リハビリスタッフ、保健師、管理栄養士など)と両立支援コーディネーターで構成された両立支援チームでサポートします。

支援内容 両立支援コーディネーターが支援対象者と面談を行い、治療と就労を両立する上で起こる様々な問題に対し、どう対処していくか一緒に考えます。

両立支援のイメージ



予防医療部では専門のスタッフが勤労者の皆様と企業の保健医療スタッフの皆様をサポートいたします

予防医療モデル事業

勤労者の健康確保を図るため、過労死(脳・心疾患)、勤労女性特有の健康障害等の発症予防及び増悪の防止に関する予防医療活動を通じて、事例の集積、集積した事例の分析・評価により効果的な予防法・指導法を開発するための調査研究を実施します。

●予防医療部

生活習慣病等の保健指導、生活指導、栄養指導、運動指導

生活指導 喫煙、飲酒等の習慣や休養、睡眠、ストレスコントロールについての指導



栄養指導 食事のバランスなど、食生活の改善についての指導



運動指導

健康状態や体力に合った運動プログラムによる実践指導



講習会・研修会・健康測定会

- ◎ 疾病予防(腰痛、メタボなど)
- ◎ 健康づくり
- ※ 講師派遣依頼の申込みは、当センターのホームページをご活用(申込書類など)下さい。

調査研究

- ◎ 職業性腰痛予防
- ◎ 職場のメタボリックシンドローム予防改善など

各種学会認定研修施設

日本内科学会	認定医制度教育病院
日本消化器病学会	認定医制度認定施設
日本消化器内視鏡学会	指導施設
日本胆道学会	認定指導医制度指導施設
日本肝臓学会	認定施設
日本循環器学会	認定循環器専門医研修施設
日本糖尿病学会	専門医制度認定施設
日本小児科学会	認定医制度研修施設
日本外科学会	認定医制度修練施設
日本外科学会	外科専門医制度修練施設
日本胸部外科学会	関連施設
日本乳癌学会	認定医・専門医規則認定施設
日本消化器外科学会	専門医修練施設
日本大腸肛門病学会	専門医修練施設
日本整形外科学会	専門医制度研修施設
日本脳神経外科学会	専門医認定制度指定訓練施設
日本脳卒中学会	認定研修教育病院
日本心臓血管外科学会	専門医認定機構基幹施設
日本皮膚科学会	専門医研修施設
日本泌尿器科学会	専門医教育施設
日本産婦人科学会	専門医制度卒後研修指導施設
日本周産期・新生児医学会	周産期母体・胎児専門医の暫定研修施設
日本眼科学会	専門医制度研修施設
日本耳鼻咽喉科学会	専門医研修施設
日本気管支学会	認定医制度認定施設
日本リハビリテーション医学会	専門医研修施設
日本医学放射線学会	放射線科専門医修練機関
日本麻酔学会	麻酔指導病院
日本ペインクリニック学会	指定研修施設
日本救急医学会	認定医指定施設
日本集中治療医学会	専門医研修施設
日本プライマリケア学会	認定医研修施設
日本医療薬学会	認定薬剤師制度研修施設
日本医療薬学会	認定がん専門薬剤師研修認定施設

沿革

1955年（昭和30年）	50床（3診療科）で開設
1967年（昭和42年）	救急告示（広島県告示）（病床数350床）
1983年（昭和58年）	救急部設置
1984年（昭和59年）	臨床研修病院（厚生省指定）
1988年（昭和63年）	外国医師・歯科医師臨床修練病院（厚生省指定）
1997年（平成9年）	災害拠点病院（広島県指定）
1999年（平成11年）	地域周産期母子医療センター（広島県指定）
2001年（平成13年）	地域リハビリテーション広域支援センター（広島県指定）
2004年（平成16年）	独立行政法人 労働者健康福祉機構へ移管
2008年（平成20年）	地域医療支援病院（広島県指定）
2009年（平成21年）	（財）日本医療機能評価機構による認定取得（ver.5）
2010年（平成22年）	7対1看護体制導入 広島DMAT指定病院（広島県指定）
2011年（平成23年）	電子カルテ導入
2012年（平成24年）	がん診療連携拠点病院（広島県指定）
2013年（平成25年）	（財）日本医療機能評価機構による認定取得（3rdG：ver.1.0）
2016年（平成28年）	独立行政法人 労働者健康安全機構へ移管
2018年（平成30年）	（財）日本医療機能評価機構による認定取得（3rdG：ver.2.0）





交通のご案内

- ・ JR 呉線「新広駅」下車、徒歩 2 分
- ・ 呉市生活バス「白石白岳交叉点循環線」及び「横路交叉点循環線」で『院内バス停』下車
- ・ 瀬戸内産交バス（下蒲刈町方面からのご利用）で『院内バス停』下車
- ・ 広島電鉄バス「広長浜呉駅線」をご利用の場合は、「新広駅」下車、徒歩 3 分
- ・ その他、広島電鉄バス又は JR バスで『広市民センター前バス停』下車、徒歩約 4 分

<http://www.chugokuh.johas.go.jp/>

中国労災病院

検索



独立行政法人 労働者健康安全機構
中国労災病院
 Chugoku Rosai Hospital

〒737-0193 呉市広多賀谷1-5-1
 TEL(0823)72-7171(代表) FAX(0823)74-0371
 1-5-1 Hiro-Tagaya, Kure, Hiroshima 737-0193